

仕 様 書

1. 件 名

サイクロトロン棟 1 階機械室 ガス焚き温水ボイラーの更新

2. 施行場所

千葉市稲毛区穴川 4-9-1

独立行政法人放射線医学総合研究所 サイクロトロン棟 1 階機械室

3. 施行理由

サイクロトロン棟は常に清浄な新鮮外気をサイクロトロン棟内に供給する必要がある。サイクロトロン棟 1 階機械室に設置されている温水ボイラーはサイクロトロン棟内の温湿度を一定に保ち、棟内の加湿及び温度調整に使用されているが経年使用に伴う性能劣化が著しく、加湿及び温度調節に不便が生じている。このため、温水ボイラーの更新を行う。

4. 施行期限 平成 24 年 9 月 28 日

5. 仕 様

(1) ガス焚き温水ボイラー仕様

参考型番 三浦工業 EW-30H 型又は同等品 1 台

- ・最大出力 : 300,000kcal
- ・燃 料 : (都市ガス 13A)
- ・燃料消費量 : 35.1 m³/h
- ・効 率 : 88%
- ・最大水頭圧 : 0.98MPa
- ・使用電源 : 3 相×200V×50Hz

(2) 工事等

- ・新設ボイラーの搬入据付け工事 1 式
- ・既設ボイラーの撤去搬出工事 1 式
- ・配管工事 1 式

既設ボイラーに接続される配管（ガス管 50A、温水往還管各 100A、吹き出し管 25A、排水管 25A）の切り離し、新設ボイラー据付け後の接続工事

- ・煙道工事 1 式

既設ボイラーに接続される煙道（250φ、SS400、3.2t）の切り離し、新設ボイラー据付け後の接続工事

- ・保温工事 1 式
新設配管煙道の保温断熱工事
- ・電気接続工事 1 式
既設ボイラーに接続される電源配線の切り離し、新設ボイラー据付け後の接続工事
- ・自動制御設備工事 1 式
既設ボイラーに接続される制御配線の切り離し、新設ボイラー据付け後の接続工事
- ・試運転調整 1 式
新設ボイラーの試運転、温水配管の循環点検
- ・廃材処分 1 式
撤去後のボイラー、配管、煙道等の場外搬出处分

- (3) 既存ボイラーの撤去及び既設ボイラー用煙導、配管等の切り外しを行うこと。
- (4) 基礎の補修を行い、新規ボイラーの搬入、据付工事を行うこと。
- (5) 配管（給水、ガス、排水）は、既設配管と継ぎ込みを行うこと。
また、煙道の継ぎ込みを行うこと。
- (6) 工事を行った配管類には、保温及び塗装を行うこと。
- (7) 計装関係は、既設配線を使用して監視室計装盤に接続、調整を行うこと。
- (8) 工事完了後、試運転調整を行うこと。

6. 現場工事

- (1) 工事の実施に当たっては、作業員の出入り、機材、機械器具、仮設設備等の持ち込み、持ち出し及び火気の使用等については、予め当所に届け出て承認を受けること。
- (2) 工事に関する事故及び保安並びに材料、工具、仮設設備の保管等の責任は、受注者にあるものとする。
- (3) 受注者は、本工事施工の際、建物その他を破損した場合は、同一材料をもって速やかにこれを補修すること。
- (4) 受注者は本工事完了に際し、後片付け及び清掃を行うこと。

7. その他

- (1) 本工事は、土、日、祝祭日の休日作業を含むものとする。
- (2) 本工事の施工に当たっては、工程等（ボイラーの停止を伴うため）について予め当所担当者と打合わせのこと。
- (3) 温水ボイラーの仕様で、能力等については仕様書の数値以上とし、電気容量等につ

いては3相200V仕様とする。

- (4) 受注者は、工事の工程を変更する必要がある場合には、遅滞なくその旨を申し出て、当所担当者の承認を受けること。
- (5) 受注者は、本工事に必要な諸官庁の申請手続きをおこなうこと。
- (6) 本工事に要する電力、水は無償とする。
- (7) 撤去した温水ボイラー及び本工事の発生材については場外搬出処分とする。
- (8) 本工事において、建物内の通行等にできる限り支障をきたさないよう注意すること。
- (9) 本工事終了後、完成図、取扱説明書、試験成績表を各2部、並びに工事写真を1部当所に提出のこと。
- (10) 廃材を管理区域から搬出する場合は、放医研の指示に従うこと。
- (11) その他本工事において、疑義が生じた場合は当所担当者の指示を受けること。
- (12) 放射線管理区域内作業を含むため、放射線管理区域立入申請書を事前に提出すること。

8. 検 査

工事完了後、当所担当者が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

部課（室）名 安全・施設部 施設課

担当者氏名 内田 晴康